

中濃消防組合地球温暖化対策実行計画に基づく公表

令和4年12月27日
消防本部総務課

中濃消防組合地球温暖化対策実行計画に基づく令和3年度温室効果ガス排出量及び各種エネルギー使用量実績の状況を公表します。

1. 事務事業により排出された温室効果ガス排出量

基準年度 平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	基準年度からの比較
361.1 t	347.8 t	361.8 t	369.6 t	8.5 t (102.4%)

2. 事務事業により使用された各種エネルギー使用量及びCO2排出量

		平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
ガソリン	使用量	32,857.8 ℓ	28,501.5 ℓ	25,832.9 ℓ	28,436.7 ℓ
	CO2排出量	76.231 t	66.124 t	59.932 t	65.973 t
軽油	使用量	13,808.1 ℓ	13,377.8 ℓ	12,057.4 ℓ	11,171.9 ℓ
	CO2排出量	35.624 t	34.515 t	31.108 t	28.824 t
電気	使用量	449,119 kwh	445,372 kwh	487,740 kwh	495,166 kwh
	CO2排出量	249.261 t	247.182 t	270.695 t	274.817 t
総排出量		361.116 t	347.821 t	361.735 t	369.614 t

3. 温室効果ガス排出量に関する分析

令和2年3月に策定した「中濃消防組合地球温暖化対策実行計画」に基づき継続的に分析を実施しています。

電気使用量の多くは、空調設備の使用に大きく影響するところですが、令和2年度に引き続き令和3年度も異常気象の影響で、全ての施設で空調設備の使用時間が長くなったことなどにより、電気使用量が上昇しています。

消防車両等の公用車にかかる燃料使用量については、令和に入ってからコロナ感染症の影響により、出向業務や救急出場件数が減少したことで燃料の使用が減少しましたが、令和3年から徐々に経済活動も活発になるに従い、特に救急出場が増加したことでガソリンの使用量も増加しています。